



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月14日

上場会社名 ワイエスフード株式会社
 コード番号 3358 URL <http://www.ys-food.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 緒方 正憲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 岩下 征吾

TEL 0947-32-7382

四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	424	0.2	42		38		39	
30年3月期第1四半期	424		23		26		27	

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 45百万円 (%) 30年3月期第1四半期 18百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	10.17	
30年3月期第1四半期	7.17	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	3,942	1,556	39.5
30年3月期	3,765	1,602	42.5

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 1,556百万円 30年3月期 1,602百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		0.00	0.00
31年3月期					
31年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,856	8.3	20		22		17		4.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	3,873,000 株	30年3月期	3,873,000 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	株	30年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	3,873,000 株	30年3月期1Q	3,873,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いたものの、国内の生活物価の上昇や国外における政治・経済の不透明感の増大などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、多様化する消費者志向に対応すべく、同業種はもとより他業種からの参入が続いており、競争環境は更に激化しております。これに加えて、原材料価格の高騰や継続的な採用難、人財コストの上昇など、コスト面においても引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、「一杯のラーメンをお客様に満足していただく」という創業当時の理念にのっとり、お客様一人一人に誠実にサービスを提供し続けるため、「美味しさと快適な食の空間」を追求するとともに、「食の安心・安全」の維持向上への取り組みを実践してまいりました。また、過去の成功体験に依存することなく、既存事業の運営体制の見直しによる収益構造の改善及び新規事業の創出、新規市場への進出を進め、市場動向に合わせた従来の枠にとらわれない事業領域の再構築を進めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は424百万円（前年同期比0.2%増）となり、営業損益は、直営店におきまして福岡県福岡市西区に「ラーメン酒場 やまごや」及び「YAMECHA-CAFE 一茶」の2店舗を出店、さらに福岡県田川郡において『山小屋 創業店』のリニューアルオープンによる費用の影響があったことから、営業損失42百万円（前年同期は営業損失23百万円）、経常損失38百万円（前年同期は経常損失26百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失39百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失27百万円）となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(外食事業)

当第1四半期連結累計期間におきましては、新規顧客獲得と既存顧客のリピート率向上を図るため、「餃子」をメインとした販促セールを実施したことに加え、当社で製造した食材を有効活用した「定食メニュー」の導入や「夏季限定メニュー」の導入等、店舗売上高及び食材出荷の増加に努めてまいりましたが、直営店2店舗の出店及び1店舗の移転リニューアルの費用があったことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は363百万円（同3.5%減）となり、営業損失13百万円（前年同期は営業利益11百万円）となりました。

当第1四半期連結会計期間末の店舗状況は、前連結会計年度末に比べ増減なく、162店舗（直営店6店舗、FC店109店舗、海外47店舗）となりました。店舗数の増減については、新規出店3店舗（直営店2店舗、海外1店舗）及び、中途解約による店舗の閉店3店舗（FC店1店舗、海外2店舗）であります。

なお、当社グループの課題である国内における食材取引高の減収の対策として、FC加盟店舗数増加に注力するため、外部委託による加盟募集活動の促進を行うとともに、「オリジナルブランド事業」及び「独立開業制度の導入」といった加盟者の選択肢を増加させ、出店舗数の増加そして食材取引高の増加に注力してまいります。

(不動産賃貸事業)

当社が所有する店舗用地等の有効活用を目的とした賃貸事業を行っており、当第1四半期連結累計期間の売上高は15百万円（同5.3%減）、営業利益8百万円（同1.7%減）となりました。

(外販事業)

当社は、ラーメン等の製品を主要販売品目とする外販に加え、インターネット通販サイトにおける通信販売及び一般小売先向け卸し、委託販売による小売りを行っております。

連結子会社ワイエス商事株式会社は、中国での越境EC事業における通信販売等を行っております。

当第1四半期連結累計期間における外販事業の売上高は37百万円（前年同期比211.3%増）となり、営業損失14百万円（前年同期は営業損失12百万円）となりました。

（美容・健康事業）

連結子会社株式会社日本美容研究所が取り扱うプライベートブランドを用いて、国内外におけるファスティングスタジオの事業展開を進めております。また、同社の美容関連・健康食品両分野において、コールセンターを用いての販売促進を行うと同時に、インターネット通販サイトにおける通信販売およびドラッグストア・免税店等の一般小売先向け卸し、委託販売による小売りを行っております。

当第1四半期連結累計期間における美容・健康事業の売上高4百万円（前年同期比4.4%減）となり、営業損失3百万円（前年同期は営業損失10百万円）となりました。

（その他）

当社は、飲食店用の厨房設備の販売を、FC加盟店などに行っております。連結子会社株式会社Zing'sは、デザイン事業を行っております。

当第1四半期連結累計期間におけるその他事業の売上高は3百万円（前年同期比76.8%減）となり、営業損失2百万円（前年同期は営業損失2百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ141百万円増加し968百万円となりました。これは主に、「一般国道201号香春拡幅工事」に伴う土地売買契約及び物件移転補償契約の入金があったこと等により、その他に含まれている未収入金が53百万円減少したものの、長期借入金の借入があったこと等により現金及び預金が205百万円増加したこと等によるものであります。

一方、固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ35百万円増加し2,974百万円となり、これは主に、出店に伴い有形固定資産が51百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は3,942百万円となり、前連結会計年度末に比べ176百万円の増加となりました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ3百万円増加し、1,054百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が46百万円、前受金が31百万円増加したものの、買掛金が41百万円、預り金が8百万円、未払法人税等が5百万円減少したこと等によるものであります。一方、固定負債につきましては、長期借入金の純増等の理由から、前連結会計年度末に比べ218百万円増加し、1,331百万円となりました。

この結果、負債合計は2,385百万円となり、前連結会計年度末に比べ221百万円の増加となりました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,556百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失39百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は39.5%（前連結会計年度末は42.5%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において平成30年5月15日に公表致しました連結業績予想の変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	398,672	604,103
売掛金	168,970	145,310
商品及び製品	108,761	109,626
仕掛品	5,440	1,396
原材料及び貯蔵品	14,366	15,315
その他	143,844	104,047
貸倒引当金	△13,131	△11,770
流動資産合計	826,925	968,030
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	883,240	925,759
機械装置及び運搬具(純額)	22,621	27,101
土地	1,534,051	1,534,051
その他(純額)	7,874	12,343
有形固定資産合計	2,447,788	2,499,255
無形固定資産		
その他	68,292	63,939
無形固定資産合計	68,292	63,939
投資その他の資産		
投資有価証券	179,700	167,902
繰延税金資産	778	717
敷金及び保証金	110,941	107,360
その他	237,772	240,273
貸倒引当金	△106,217	△105,269
投資その他の資産合計	422,976	410,985
固定資産合計	2,939,056	2,974,179
資産合計	3,765,981	3,942,210

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	115,551	73,855
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	481,003	527,470
未払法人税等	9,774	3,805
賞与引当金	9,488	4,178
ポイント引当金	561	642
その他	235,126	244,584
流動負債合計	1,051,506	1,054,538
固定負債		
長期借入金	808,866	1,022,084
役員退職慰労引当金	54,255	55,174
退職給付に係る負債	65,560	63,433
資産除去債務	56,073	70,034
その他	127,564	120,281
固定負債合計	1,112,320	1,331,007
負債合計	2,163,827	2,385,545
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,002,050	1,002,050
資本剰余金	831,588	831,588
利益剰余金	△280,297	△319,697
株主資本合計	1,553,341	1,513,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,633	43,051
為替換算調整勘定	1,544	836
退職給付に係る調整累計額	△3,364	△1,163
その他の包括利益累計額合計	48,812	42,724
純資産合計	1,602,154	1,556,665
負債純資産合計	3,765,981	3,942,210

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	424,125	424,967
売上原価	222,111	230,661
売上総利益	202,013	194,305
販売費及び一般管理費	225,319	236,799
営業損失(△)	△23,305	△42,493
営業外収益		
受取利息	1,439	1,485
受取配当金	160	160
違約金収入	824	3,841
その他事業収入	—	2,381
その他	1,064	1,386
営業外収益合計	3,488	9,254
営業外費用		
支払利息	3,343	3,378
貸倒引当金繰入額	995	△1,635
持分法による投資損失	2,120	181
その他事業支出	—	3,221
その他	260	246
営業外費用合計	6,718	5,392
経常損失(△)	△26,535	△38,632
特別利益		
固定資産売却益	24	—
特別利益合計	24	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△26,510	△38,632
法人税、住民税及び事業税	1,211	707
法人税等調整額	61	61
法人税等合計	1,272	768
四半期純損失(△)	△27,783	△39,400
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△27,783	△39,400

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純損失(△)	△27,783	△39,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,102	△7,582
退職給付に係る調整額	445	2,201
持分法適用会社に対する持分相当額	757	△707
その他の包括利益合計	9,305	△6,087
四半期包括利益	△18,477	△45,488
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,477	△45,488
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(固定資産の譲渡)

当社は平成30年6月18日開催の取締役会において、以下のとおり固定資産の譲渡を決定し、平成30年6月28日付で「不動産売買契約」を締結いたしました。

(1) 譲渡の理由

資産の効率的運用を図るため、当該固定資産を譲渡することといたしました。

(2) 譲渡資産の内容

- ①譲渡資産 土地付建物
- ②所在地 北九州市小倉北区魚町一丁目
- ③土地 宅地：303.00㎡
- ④建物 延床面積：556.50㎡ 用途：店舗・倉庫
- ⑤譲渡益 約186百万円

※本件における譲渡先は、国内法人1社ですが、譲渡先との取り決めにより開示を控えさせていただきます。なお、譲渡先と当社、その他当社の関係会社との間には特記すべき資本関係、人的関係、取引関係はありません。また、当社の関連当事者には該当しません。

(3) 譲渡の日程

- ①取締役会決議日 平成30年6月18日
- ②契約締結日 平成30年6月28日
- ③物件引渡 平成30年10月下旬予定

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	外食事業	不動産 賃貸事業	外販事業	美容・ 健康事業	計				
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高	377,211	16,751	12,158	4,507	410,628	13,496	424,125	—	424,125
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	83	—	—	100	590	691	△691	—
計	377,229	16,834	12,158	4,507	410,729	14,087	424,816	△691	424,125
セグメント利益 又は損失(△)	11,177	8,792	△12,691	△10,727	△3,448	△2,964	△6,412	△16,893	△23,305

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売、デザイン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△16,893千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△17,083千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成30年4月1日 至平成30年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	外食事業	不動産 賃貸事業	外販事業	美容・ 健康事業	計				
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高	363,822	15,858	37,846	4,309	421,836	3,130	424,967	—	424,967
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	111	83	77	6	278	45,921	46,199	△46,199	—
計	363,934	15,941	37,923	4,315	422,114	49,051	471,166	△46,199	424,967
セグメント利益 又は損失(△)	△13,745	8,644	△14,173	△3,517	△22,791	△2,891	△25,682	△16,810	△42,493

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売、デザイン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△16,810千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△15,131千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。